

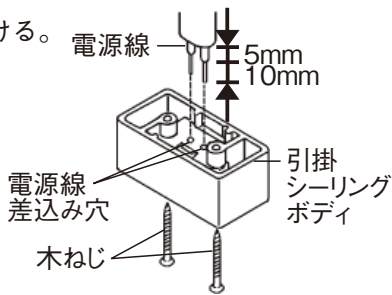
電気工事

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因となります。）

※天井に配線器具がついていない場合は、電気設備の技術基準・内線規程に従い取付ける。
電気工事には電気工事士の資格が必要です。
引掛シーリングボディの電源線差込み穴に電源線を確実に差込む。
（適合電線は単線のφ 1.6mm、φ 2.0mm）
付属の木ねじ2本で引掛シーリングボディをしっかり天井に取付ける。

⚠警告

速結式の電源接続は、指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし奥まで差込む。
差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因となります。



故障かな？と思ったら

故障の状態	主な原因	故障の状態	主な原因
蛍光灯が点灯しない	○スイッチがオフになっている ○蛍光灯がランプソケットに正常に取り付いていない ○蛍光灯の寿命 ○指定ソケットへの差し違い	常夜灯が点灯しない	○常夜灯のゆるみ ○常夜灯の寿命
		いずれも点灯しない	○電源が切れている

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか？

- コゲくさい臭いがする
- ランプを取りかえても正常に点灯しない
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店にご相談ください。

⚠安全に関するご注意

～～照明器具の寿命について～～

- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。（JIS C 8105-1 解説による。）
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

- 保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。
- 保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 2.施工上の不備に起因する故障や不具合
 - 3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
 - 4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
 - 5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - 6.日本国内以外での使用による故障および損傷
 - 7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

- 修理を依頼されるとき
 - 1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
 - 2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、
 - 1.修理のお問い合わせは、「修理窓口」へ
フリーダイヤル ☎(0120) 56-8634 インターネット ☒ www.melsc.co.jp
東日本修理受付センター ☎(03)3424-1111
西日本修理受付センター ☎(06)6454-3901
 - 2.その他のお問い合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター フリーコール ☎(0120)139-365
東京都世田谷区池尻3-10-3 (03)3414-9655

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社

製造会社 三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729 FAX (0467)41-2786

MITSUBISHI 三菱蛍光灯器具

蛍光灯ペンダント

形名 CJH86001E

CJH86002E

CJH66003E

CJH66004E

取扱説明書

- 電気工事は工業者に依頼し、お客さまによる工事はなさないでください。
- 電気工事には電気工事士の資格が必要です。

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なおきにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、

⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⊘ 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。
⚡ 絶対に分解・改造しないでください。	

⚠警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
❗ 厳守	■異常時は電源スイッチを切る 煙がでたり、変な臭いがしたらすぐスイッチを切る 火災・感電の原因		■金属やごみを差し込まない 器具のすきまやソケット部にピンや針金・可燃物などを差し込まない 火災・感電の原因
⚡ 分解禁止	■分解・改造はしない 火災・感電の原因		■布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせない 火災の原因

⚠注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
⊘ 禁止	■電気工事はしない 有資格者に取付けを依頼 感電の原因 ■温度の高くなるものを置かない 器具の真下にストーブなどを置かない 火災の原因		■スイッチ引きひもを急激に強く引いたり、斜めに引かない 破損してけが、落下の原因 ■風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。 火災・感電の原因

施工者さまへ

- 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

❗厳守 ■施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

⚠注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
⊘ 禁止	■次のような場所には取付けない ・引火する危険のある場所 可燃性スプレーを吹き掛けない 火災の原因 ・傾斜天井 落下・火災の原因 ・高温（40℃以上）の場所 落下・感電・火災の原因 ・強い振動・衝撃のある場所 器具破損により落下の原因		⊘ 禁止 ・薄い板部分・強度的に不十分な天井 落下の原因 ・配線器具に欠け、割れ、木ねじのゆるみがある場所 火災・落下の原因 ■電源アダプターから直接ペンダントを吊り下げない 落下の原因 ■調光器との併用はしない 火災の原因

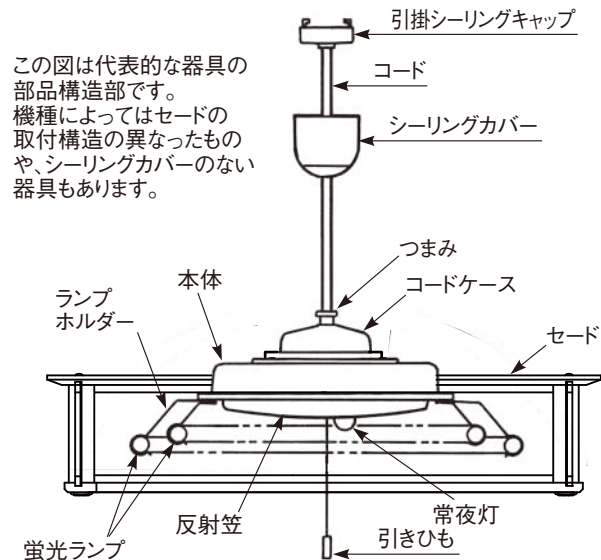
お願い

- 照明器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
- ご購入後の初期点灯時にランプの電極付近が黒くなっていることがありますが、しばらく点灯しておくとお消えます。
- 正しい性能を維持するため、蛍光灯を必ず2灯取り付けてご使用ください。
- ランプはランプソケットに確実に取付けてください。
- 周囲の温度が高くなると、段階的に明るさを調整するためランプがチラついて見える場合があります。

仕様

	定格電圧	定格周波数	消費電力	適合ランプ	使用常夜灯	点灯順序
86W	100V	50Hz/60Hz	74W	FHC27(高出力点灯 38W)X1 FHC34(高出力点灯 48W)X1	E12 なつめ球 (5W まで)	全灯→段調光→常夜灯→消灯
66W			62 W	FHC20(高出力点灯 28W)X1 FHC27(高出力点灯 38W)X1		

各部のなまえ

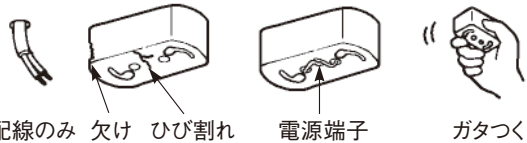


取付前の確認

■取付できない天井と引掛シーリングボディ
下図の場合は、電気工務店か販売店に依頼してください。

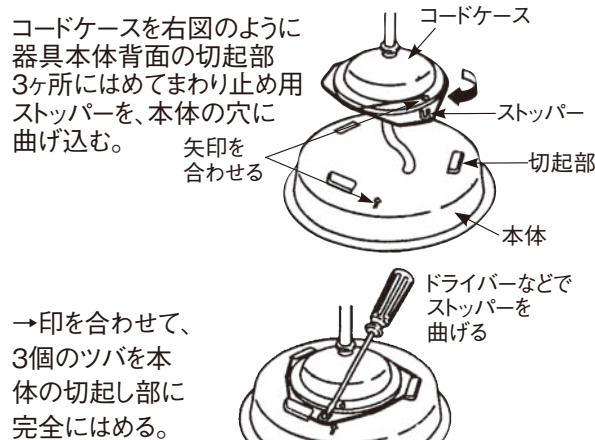
電気工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工務店に依頼して下さい。

- ・引掛シーリングボディが取付けられていない。
- ・引掛シーリングボディが破損している。
- ・電源端子露出型引掛シーリングボディが取付けられている。
- ・引掛シーリングボディがグラグラしている。



⚠ 警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
(落下の原因)

取付前の準備



→印を合わせて、3個のツバを本体の切起し部に完全にはめる。

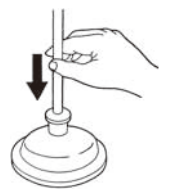
必ずまわり止め用のストッパーを本体の穴に曲げ込む。
コードケースを左にまわしてはずれないことを確認する。

取付けかた

1. コードの長さを決める

——あらかじめ天井と器具の間隔を決め、下図の要領でコードの長さを調節します。

短くするとき



コードをつまんで押し込む

長くするとき



つまみを押さえておいて、コードを引き出す

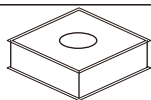
コードの長さを調節したらつまみを引き上げてコードを固定させる。

2. セードを取付ける

※セードは機種によって異なります。

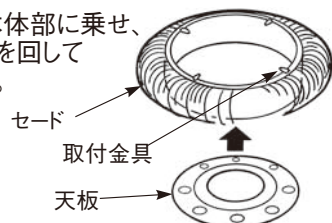
セードとセードの本体に乗る部分が一体の場合

コードをセード中央穴に通し、セードを本体にのせる。



セードとセードの本体に乗る部分が分離している場合

本体に乗る部分(天板)を本体部に乗せ、セードについての取付金具を回してセードを天板の上に乗せる。



3. 器具を天井に取付ける

- ・引掛シーリングキャップを持って天井の引掛シーリングボディへ引掛けてカチッと音がするまで、右に回して器具を吊り下げる。
- ・ボタンを押さずに左に回して引掛シーリングキャップがはずれないことを確認する。
- ・器具を取りはずすときは、ボタンを押しながら左へ回す。

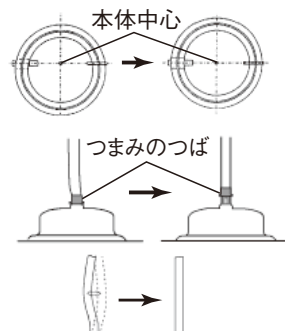


・シーリングカバーを天井面まで引き上げる。

4. 器具の傾きの調節のしかた

つまみが斜めになっていると器具が傾くことがあるので、つまみは水平になるように調整する。

- (1) ランプを本体中心に合わせる。
- (2) コードの長さ調節つまみを調節する。コード長さを調節したあと、つまみのつばを強く引き出して本体に水平にする。
- (3) コードのくせを修正する。コードの曲がりにくせがある場合は、逆方向に曲げくせを直す。



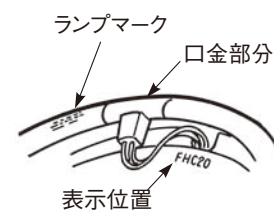
ランプ交換のしかた

ランプ交換の際は、適合ランプをご使用ください。

CJH66003E,CJH66004Eの場合

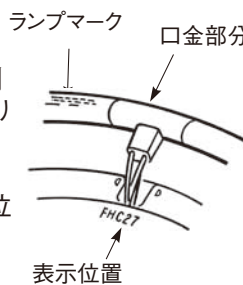
FHC20ランプの取付

- ① FHC20ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付ける。
このとき図のようにFHC20ランプの口金部分は反射笠のFHC20の表示より少しずらした位置に合わせる。
- ② ランプソケットをFHC20ランプの口金のピンに確実に差し込む。



FHC27ランプの取付

- ① FHC27ランプをランプマークが下側になるようにしてランプホルダーに取り付ける。
このとき図のようにFHC27ランプの口金部分は反射笠のFHC27表示位置に合わせる。
- ② ランプソケットをFHC27ランプの口金のピンに確実に差し込む。



ランプ交換時のお願い

- 電源を切ってランプを反射笠に表示されているランプの種類に合わせて交換してください。
- より安全、確実にランプ交換していただくために、また清掃も兼ねて照明器具を下へ下ろしてお取り換えください。
- ランプ取付時は上図のようにランプの位置、ランプソケットのコード位置を調整してください。
- 蛍光ランプおよび常夜灯をランプホルダーで弾かないください。
- 蛍光ランプの口金は多少動くように作っていますが、無理に回さないでください。



この器具は、FHC（高周波点灯専用環形蛍光ランプ）専用です。

⚠ 注意

- ・器具表示の指定 W (ワット) 数のランプ以外使わない
過熱して火災の原因
- ・ランプホルダをランプに強く当てない
ランプが破損してけがの原因
- ・点灯中及び消灯直後のランプには触らない
高温のためやけどの原因
- ・使用済みランプは不用意に割らない
ガラスの破片が飛散してけがの原因

点灯順序

引きひもを操作することで次の点灯順序となります。

2 灯 全 灯 → 2灯調光点灯 → 常 夜 灯 点 灯 → 消 灯

- 壁スイッチのみで 사용되는場合は、時々、引きひも(プルスイッチ)での操作を行ってください。
長期間、引きひもでの操作を行なわないと、スイッチの接点が酸化し接触抵抗が高くなり熱を持ちますので故障することがあります。
スイッチ機能が損なわれ、火災の原因となります。

お手入れ

お手入れの際は、安全のため必ず電源を切ってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的 (6ヶ月に1回程度) に清掃、点検してください。
- ・器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。

⚠ 警告
器具・ランプを水洗いしない
火災・感電の原因



- ・ベンジン・シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたらないでください。変質の原因になります。
- ・セード等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水 (中性洗剤) を含ませて汚れを拭き取ってください。
その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。
- ・セード(和紙及び布等)の汚れを取るときは、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。
- ・木製の部分は、乾いた布などで軽く汚れを取り除いてください。